

高齢者を対象とした自然体験型健康増進プログラムの実践とその成果

○青木康太郎 [北翔大学]、粥川道子 [北翔大学]

キーワード：高齢者 ウォークラリー 健康増進

北翔大学，小樽商科大学大学院ビジネススクール，コープさっぽろ，赤平市は，長寿社会における高齢者の社会的役割の再構築の新たなモデルづくりとして，平成 22 年度から産学官連携プロジェクト「あかびら・地域まるごと元気アッププログラム」（まる元プログラム）に取り組んでいる。本発表は，まる元プログラムで行った自然体験型健康増進プログラム「スマイル・ウォーク」の実践の様子やその成果について報告するものである。

スマイル・ウォークでは，自然体験による高齢者の豊かな人生づくりの支援を行うため，ウォークラリーを通じた「健康増進」と「生活の質の向上」を大きな目的とした。また，これらの目的を達成するためには，ウォークラリーを通じて「運動する (Sports)」，「出会う (Meet)」，「興味を持つ (Interesting)」，「学ぶ (Learn)」，「楽しむ (Enjoy)」の 5 つの体験をすることが大切だと考え，これらをチェックポイントの企画のテーマとした。プログラム後のアンケート結果をみると，参加者の約 9 割は「体を動かすことができた」，「心身のリフレッシュになった」，「新しいことを学んだり，体験する機会になった」等と感じたことが明らかとなり，スマイル・ウォークの目的はおおよそ達成されたことが分かった。

レクリエーション支援教育における「交流大会」に参加した学生の変容について

○奥野孝昭 [四天王寺大学]、大西敏浩 [四天王寺大学短期大学部]、吉田祐一郎 [四天王寺大学]

キーワード：レクリエーション支援教育、課程認定校レクリエーション交流大会

大阪府においては、1996 年より毎年、「(公財) 大阪府レクリエーション協会課程認定校レクリエーション交流大会 (以下、「交流大会」)」が実施されている。これは、レクリエーション・インストラクター等のレクリエーション資格の取得を目指す学生が自ら提案するレクリエーションプログラム (ブース発表) の実施を通して府下の課程認定校学生間で交流するイベントである。また、これまでの座学等を通じて修得してきたレクリエーション実践の知識や技術を集大成するものでもある。今回、本学では 1・2 回生で、レクリエーション支援の基礎的学習をねらいとする設置科目「レクリエーション論」を履修した大学 (4 年制) の 2 クラスと短期大学部 (2 年制) の 1 クラスが同大会に参加した。

本研究では、この「交流大会」へ参加した学生らに、大会前・後でどのような変容が齎されたかについて調査した。なお本研究は、入学時から卒業時までの学生へのレクリエーション支援教育の中で、何をどのように伸ばしていくのか、また実際に学生がどのような成長があったのかを考察するための今後の研究に繋げる材料としたい。